

あましんの「いま」



大阪湾を囲むビッグエリアに90店舗と20店外キャッシュサービスコーナー

本支店 **86** | 出張所 **4** | 店外キャッシュサービスコーナー **20** | 合計 **110**

営業地区 [40市4町]

兵庫県

- 尼崎市
- 宝塚市
- 神戸市
- 丹波篠山市
- 猪名川町
- 伊丹市
- 西宮市
- 三田市
- 加東市
- 川西市
- 芦屋市
- 三木市

大阪府

- 大阪市
- 高槻市
- 松原市
- 寝屋川市
- 能勢町
- 池田市
- 東大阪市
- 藤井寺市
- 四條畷市
- 豊中市
- 守口市
- 羽曳野市
- 高石市
- 豊中市
- 箕面市
- 吹田市
- 門真市
- 富田林市
- 泉大津市
- 和泉市
- 摂津市
- 八尾市
- 河内長野市
- 枚方市
- 茨木市
- 堺市
- 柏原市
- 岸和田市

(2023年5月末現在)

あましんの人材

金庫がめざすビジョンの実現に向け、将来を見据えた人員計画、適正な人材配置、スキル判定の高度化、必要な職種の人材育成を含めた人事戦略を進めていくとともに、風通しの良い職場風土の醸成により、職員が金庫で働くやりがいや喜び、自身の成長が実感できる環境づくりを進めています。



(2023年3月末現在)

あましんの「いま」

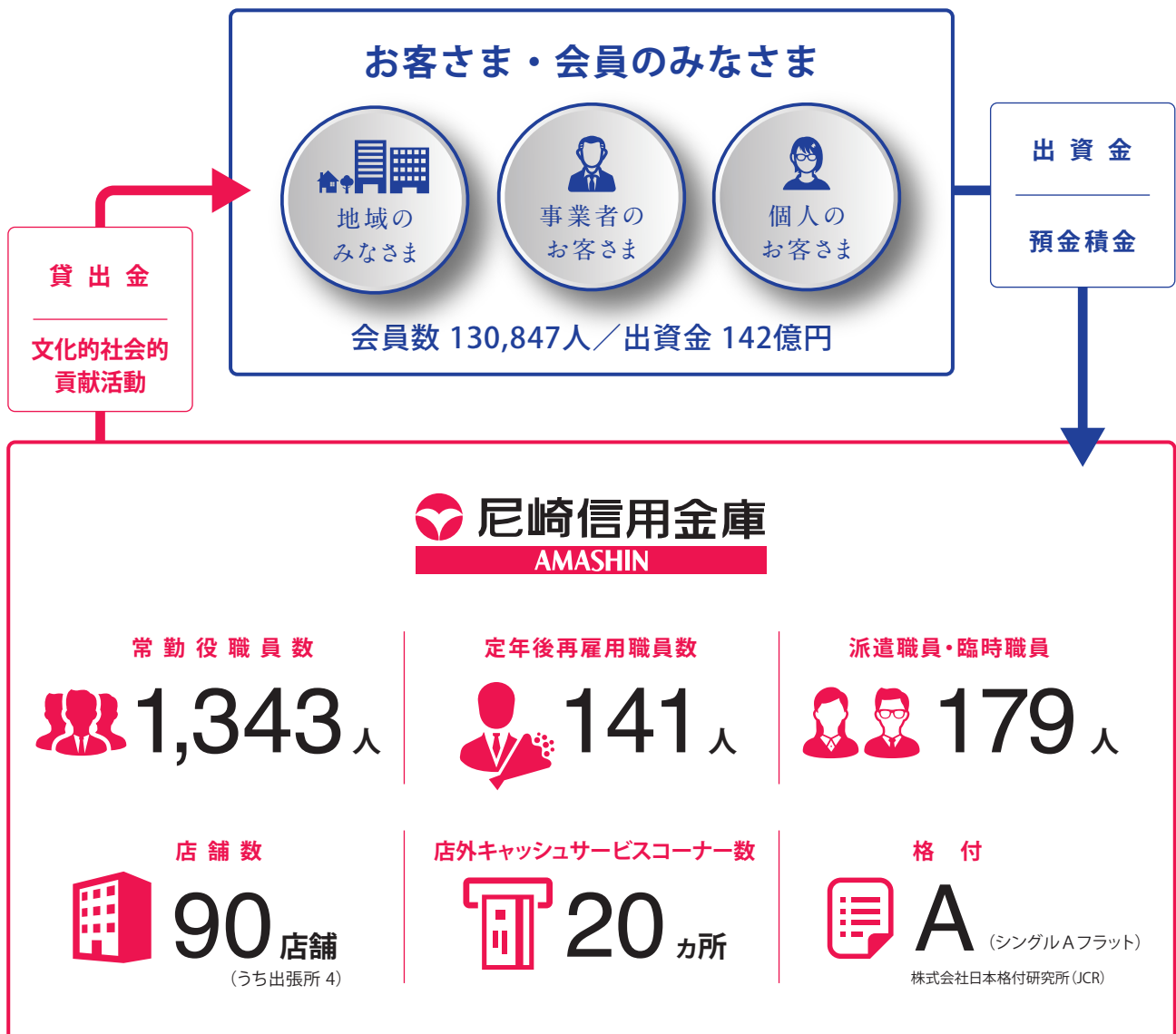
金融サービスの提供を通じて、これからも地域経済の持続的発展に貢献してまいります。

地域との共存共栄が〈あましん〉の使命です

当金庫は阪神間を中心とする40市4町を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となってお互いに助け合い、お互いに発展していくことを目的とする相互扶助の理念のもと「地域との共存共栄」をめざして運営されている協同組織金融機関です。地元のお客さまからお預かりした大切な資金は地元で資金を必要とするお客さまに融資を行って、事業の繁栄や豊かな暮らしのお手伝いをしています。

今後も当金庫は金融サービスの提供を通じて地域経済の持続的な発展に努めていくことはもちろん、地域住民の一員として地域貢献活動に取り組み、環境・安全・教育・文化といった幅広い分野で地域の活性化に貢献してまいります。

持続可能な社会の実現 地域活性化



(2023年3月31日現在)

2022年度の業績ハイライト



■ 損益状況

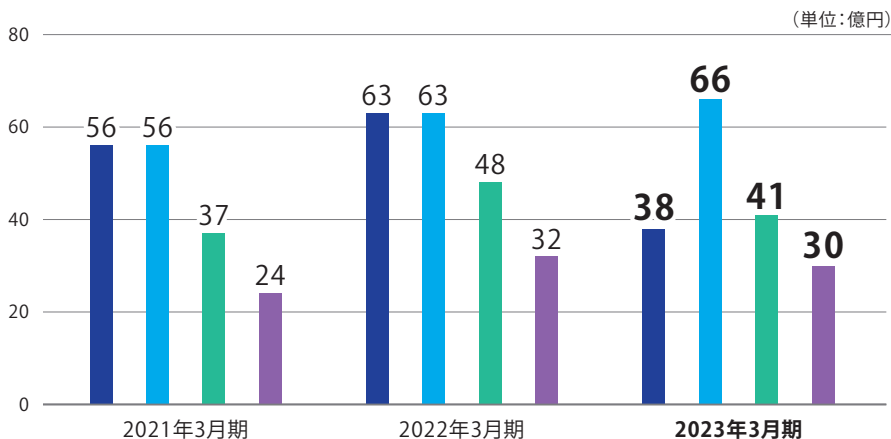
金融機関を取り巻く収益環境が厳しい中、業務純益38億円、経常利益41億円、当期純利益30億円を計上しました。

また、金融機関としての本来的な収益力を示すコア業務純益は、66億円と安定した収益基盤を維持しております。

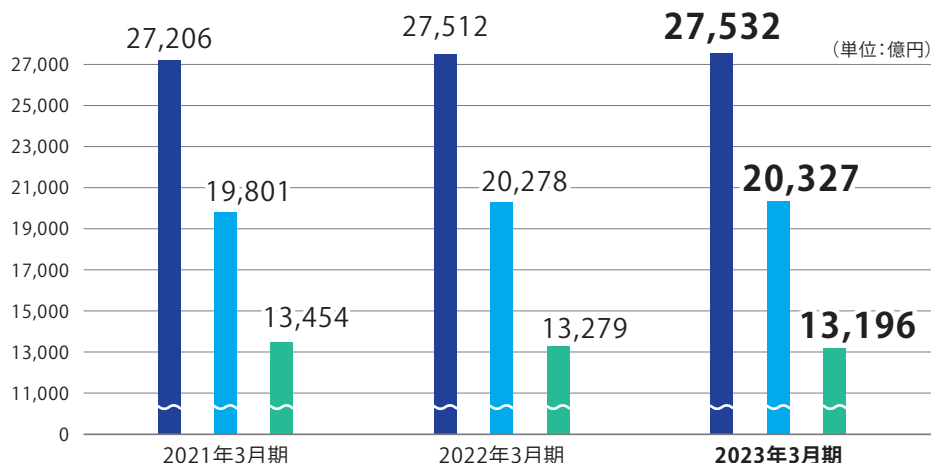
当金庫は、これからも地域・お客さまの持続的発展や課題解決に貢献し、ともに成長できる好循環の実現に努めてまいります。

■ 事業の状況を示す指標

業務純益・コア業務純益・
経常利益・当期純利益
の推移



預金積金残高・
個人預金残高・
貸出金残高の推移

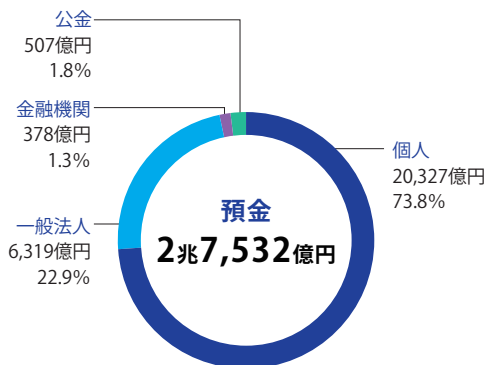


預金積金

預金積金残高は、個人預金を中心に増加し、期末残高は2兆7,532億円となりました。総預金に占める個人預金の割合は73.8%となりました。

また、「がんばれ阪神タイガース定期預金」は総残高で2,480億円のお預入をいただきました。

■ 預金の預金者別内訳

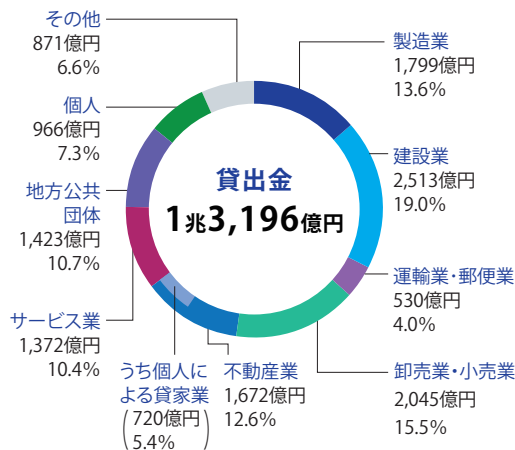


貸出金

貸出金残高は、お取引先の経営課題やニーズを的確に把握し、対話を通じた伴走支援に積極的に取り組みました。

また、小口先数主義を徹底し、事業性評価による金融仲介機能の発揮に努めました。その結果、期末残高は1兆3,196億円となりました。

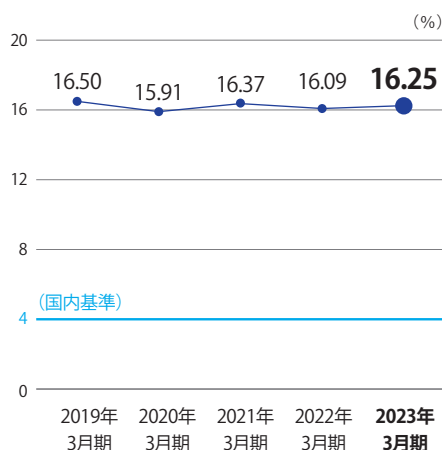
■ 貸出金の業種別残高内訳



自己資本比率 (国内基準・単体)の 状況

当金庫では、資本の有効活用の観点から、適切なリスク管理のもと、地域のお客さまに対する金融仲介機能の積極的な発揮に努めるとともに、有価証券運用では中長期的な観点に立って期待リターンの高い国際分散投資を着実に進め、経営の健全性維持と収益力向上の両立をめざしています。2022年度は、コロナ禍や原材料高の影響等から貸出の資金需要が伸び悩んだほか、海外金利上昇等による運用環境の悪化を踏まえ、有価証券や預け金による市場運用を慎重化させたため、リスク・アセットも減少に転じ、自己資本比率は、16.25%と前期末比で0.16ポイント改善しました。引き続き国内基準(4%)を大きく上回り、高い健全性を維持しております。

■ 自己資本比率(単体)の推移



■ 自己資本額(単体)の推移



信用金庫法開示債権
及び
金融再生法開示債権
の保全・引当状況

金融再生法開示債権における不良債権残高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響、国内外の不安定な情勢、資源価格の高騰など、将来の不確実性に備え適正な引当を実施した結果、2022年3月末に比べて8億円増加しました。また、不良債権比率は5.58%と前期末より0.1ポイント上昇しました。

これまで同様、不良債権に対する適正な引当を行い、厚い内部留保とあわせて万全の備えをしています。

■信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位:億円)

区 分	2021年度	2022年度
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	56	60
危険債権	673	678
要管理債権	5	5
三月以上延滞債権	-	-
貸出条件緩和債権	5	5
小 計(A)	735	743
保全額(B)	676	688
個別貸倒引当金(C)	58	53
一般貸倒引当金(D)	0	0
担保・保証等(E)	617	635
保全率(B) / (A) (%)	91.9%	92.6%
引当率((C) + (D)) / ((A) - (E)) (%)	49.8%	49.4%
正常債権(F)	12,660	12,571
総与信残高(A) + (F)	13,395	13,315
不良債権比率(A) / (A) + (F) (%)	5.48%	5.58%

■金融再生法ベースによる不良債権比率と残高推移

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続などの事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。

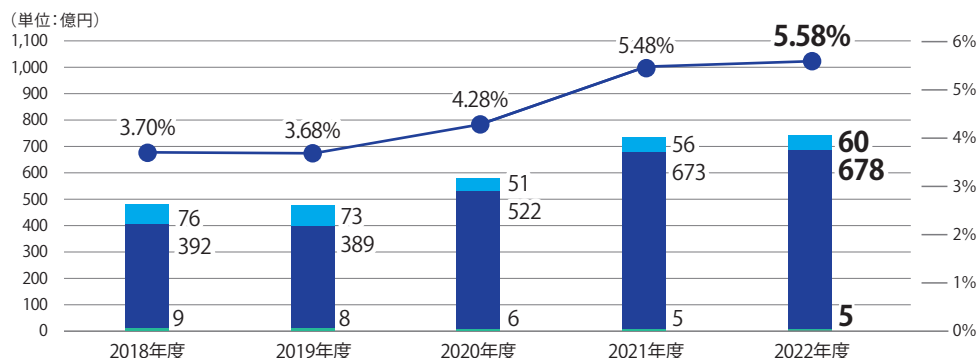
危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権。

要管理債権

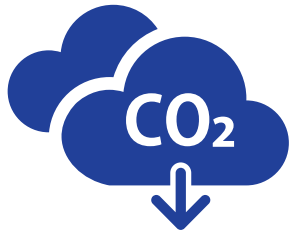
「三月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金。

●●● 不良債権比率



Pre-financial information

あましの非財務ハイライトについてご紹介します。



(E) CO₂排出量^{※1}

3,115 t



(E) ガス使用量に係る
CO₂排出量^{※1}

150 t

(E) 電気使用量に係る
CO₂排出量^{※1}

2,965 t



(S) 地域貢献活動^{※2}



尼崎市わがまちクリーン運動
延べ参加人数

792 人



尼崎21世紀の森 除草・間伐活動
延べ参加人数

122 人

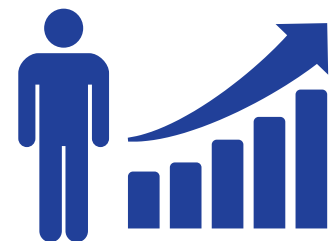
(S) 次世代への金融教育^{※2}
(おかね寺子屋、
金融経済教育セミナーの実施)

2校・11クラス

390 人



(S) 職員1人あたりの
人材育成費用^{※2}



29,512 円

E…Environment (環境) **S**…Social (社会) **G**…Governance (ガバナンス)

S 兵庫県メインバンク調査
(株式会社帝国データバンク 2022年12月公表)



阪神南地区シェア1位
34.31 %

阪神北地区シェア1位
25.28 %

S 有給休暇平均取得日数^{※2}

10.7 日



S 永年勤続表彰者数^{※2}

30年 **31** 人 20年 **46** 人



G コンプライアンス
関連研修受講人数^{※2}

847 人

G SCO (シニアコンプライアンスオフィサー)
合格者 (2023年3月末時点)

435 人

G ACO
(アシスタントコンプライアンスオフィサー)
合格者 (2023年3月末時点)

574 人

S 格付

A

A (シングルAフラット)
株式会社日本格付研究所 (JCR)
(2022年10月28日取得)

※1…2021年度実績数字 ※2…2022年度実績数字